



1月 給食だより

2026年1月
富士吉田市学校給食センター

あけましておめでとうございます

ふゆやす お 冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まりました。昔から「一月往ぬる二月逃げる三月去る」といわれてきたように、年度末に向けて月日が流れるのを早く感じる時期です。風邪やインフルエンザも流行していますので、体調管理にはより一層気をつけて、1日1日を大切に過ごしてほしいとおも思います。



今年はうま年!



うまいように野菜をたっぷり食べよう!



箸をうまく使いこなしてきれいに食べよう!



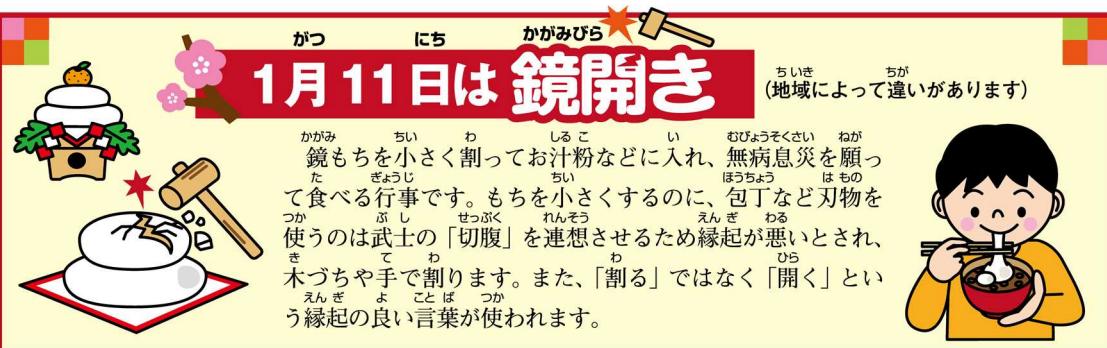
よく味わってうまいを感じよう!

お年玉はもちだった!?

お正月は、普段より日本文化を感じる機会が多くたのではないでしょうか。さて、子どもたちにとって、お正月の楽しみといえばお年玉。新年を祝って、大人から子どもへお小遣いを渡す風習です。もともとは、お正月の「歳神様(年神様)」にお供えした「もち」を、歳神様からの贈り物として分け与えたことが始まりとされ、「年玉」とは「歳神様の魂」を意味します。



1月11日は鏡開き



鏡もちを小さく割ってお汁粉などに入れ、無病息災を願って食べる行事です。もちを小さくするのに、包丁など刀物を使うのは武士の「切腹」を連想させるため縁起が悪いとされ、木づちや手で割ります。また、「割る」ではなく「開く」という縁起の良い言葉が使われます。

(地域によって違いがあります)



1月の行事&記念日 3択クイズ

1/1 元日

Q1 おせち料理の「だて巻き」には、どんな願いがこめられている?

- ① 知識が身につくように
- ② 恋がうまくいくように
- ③ 長生きできるように



1/7 人日の節句

Q2 この日に食べる春の七草の中で、スズシロとは何のこと?

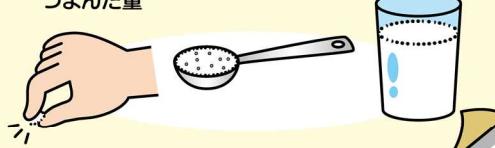
- ① かぶ
- ② 大根
- ③ れんこん



1/11 塩の日

Q3 「塩少々」とは、どのくらい?

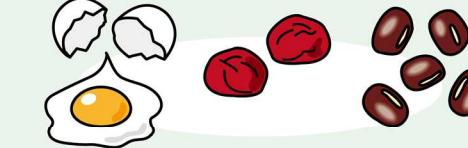
- ① 2本の指でつまんだ量
- ② 小さじ1ぱい
- ③ コップ1ぱい



1/15 小正月

Q4 この日に健康を願って作るおかゆには何を入れる?

- ① たまご
- ② 梅干し
- ③ あずき



1/20 二十日正月

Q5 お供え物を食べ尽くす風習があるこの日は、何といわれている?

- ① 空正月
- ② 骨正月
- ③ 皿正月



1/24~30 全国学校給食週間

Q6 日本で最初の学校給食として伝わるのはどのメニュー?

- ① カレーライス
- ② おにぎり、焼き魚、つけ物
- ③ コッペパン、トマトシチュー



こたえ

Q1=①[巻物(書物)を表す] Q2=②[かいぶは「スズナ」]

Q3=① Q4=③ Q5=② Q6=②[明治22年の山形県の給食]





1/24～1/30は
「全国学校給食週間」です

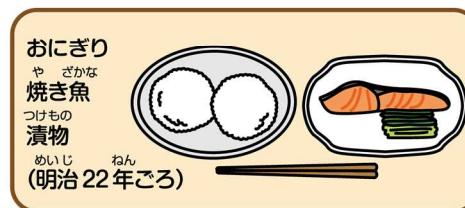
にほん がつ こう きゅう しょく

日本の学校給食のあゆみ

がつ こう きゅう しょく はじ

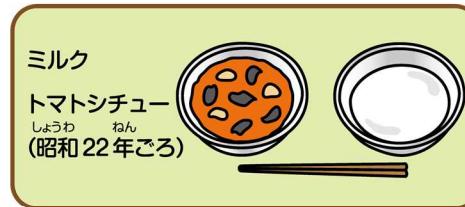
学校給食の始まり

明治22(1889)年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちへ食事を提供したのが始まりとされています。この学校は大督寺というお寺の中にあり、お坊さんたちが家々を回ってお経を唱え、いただいたお金や食べ物を使って食事を用意していました。大正12(1923)年には、子どもたちの栄養状態を改善するための方法として、学校給食が国から奨励されるなど、各地へ広がりましたが、戦争による食料不足で中止せざるを得なくなってしまいました。



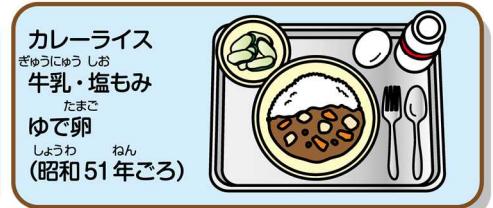
支援物資による学校給食の再開

戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和21(1946)年12月24日にLARA(アジア救援公認団体)から給食用物資の寄贈を受けて、翌1月に学校給食が再開されました。当初は12月24日を「学校給食感謝の日」としていましたが、その後、冬休みと重ならない1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。



バラエティー豊かな献立内容に

昭和29(1954)年に「学校給食法」が成立したことで、実施体制が法的に整い、学校給食は教育活動として位置付けられるようになりました。主食はパンを中心でしたが、昭和51年に米飯(ご飯)が正式に導入されると、カレーライスや炊き込みご飯などが登場し、献立内容が充実してきました。



このように、学校給食の内容は時代とともに変化していますが、「子どもたちが食べるこなく、おいしく食べて、健やかに成長できるように」といった願いが込められています。現代では、大人になっても自分自身で考えて健康な食生活を続けることができるよう、学校給食は「教材」としての役割も担っています。

富士吉田市の学校給食のあゆみ

参考資料:「富士吉田市史」

・昭和23年 4月	下吉田小学校にて米軍放出物資によるミルク給食開始。
・昭和38年 3月	国庫補助金、地元寄付金により、下吉田第一小を対象に完全給食開始。
・昭和39年 5月	吉田小、吉田中を対象にした共同調理場が吉田小に完成。
・昭和39年 7月	下吉田第二小に単独調理場完成。
・昭和40年 6月	明見小、富士小、下吉田中、明見中を対象とする富士吉田市学校給食センターが下吉田地区に完成し、市内全学校へ完全給食が提供される。
・昭和46年 9月	下吉田第一小の給食業務を給食センターに移管。
・昭和49年 12月	アルファー化米を使用し、米飯給食が開始。
・昭和51年 4月	下吉田東小開校。給食開始。
・昭和53年 4月	吉田西小開校。給食開始。
・昭和57年 4月	富士見台中開校。給食開始。
・昭和59年 10月	大明見地区に当時の最新調理機器を導入した学校給食センターを竣工。
・昭和59年 11月	給食提供開始 平成28年11月30日まで稼働。
・平成28年 10月	小明見地区にドライシステムを導入した学校給食センターを新たに竣工。
・平成28年 12月	給食提供開始～現在に至る。

おおあすみ きゅうしょく きゅうしょく
大明見にあった給食センターの給食⇒
(平成28年7月1日 御師料理給食)

